

第1段階 【IPL】 分野横断型PBL体験 【対象学年：2年生】

健康長寿社会を実現するために自職種はどうすべきかを考え、多職種の役割を知る。

第2段階 【IPE】 分野横断型PBL授業 【対象学年：高学年】

実際の事例を通して、健康長寿社会の実現のために多分野がどのように連携すべきかを考える。

0. 事前準備

第2段階

6/2



ネットオリエンテーション

ビデオ「ネット授業1の進め方」

学生グループが課題に取り組むために、最低限必要な情報や取り組み方を提供する。

1. 高齢夫婦の問題を把握する

6/9



ネット授業1

ビデオの視聴、シナリオ、資料を読みグループディスカッションを行う。シナリオや資料からグループで重要な情報を抽出し、プロブレムマップの作成を通して、高齢夫婦の問題を把握する。



自己主導型学修1

ビデオ「ネット授業2の進め方」

グループ学修で作成したプロブレムマップをもとに、個人でプロブレムマップを作成する。

2. 高齢夫婦の問題を整理して、問題を解決するための学修項目を決める

6/23



ネット授業2

自己主導型学修で作成したプロブレムマップをグループ内で共有して、ネット授業1で作成したプロブレムマップを修正し、問題を把握し、解決するための学修項目を決定する。



自己主導型学修2

ビデオ「ネット授業3の進め方」

学修項目について、各自が学修成果のサマリーと説明用ファイルを提出する。

3. 多分野が連携して高齢夫婦への対応策と地域での取組みを考える

6/30



ネット授業3

学修項目についての自己主導型学修成果を共有して、高齢夫婦の問題を整理し、グループとしてプロブレムマップを完成する。問題点リストを作成し、泉夫婦への対応策と社会的対応(団地全体での取組み)について討論を行い、説明会用スライドの概要を検討する。



自己主導型学修3

ビデオ「ネット授業4の進め方」

泉夫婦への対応策と社会的対応(団地全体での取組み)について、検討を行い、グループで説明会用スライドを作成し、提出する。

4. 多分野が連携して高齢夫婦への対応策と健康長寿社会実現に向けて地域の取組みを考える

7/14



ネット授業4

全体説明会(学生が教員に説明)
リソース講義: 超高齢団地における居住者の暮らしと支援方法
説明会用スライドの修正
授業全体(4回)の振り返り

自己主導型学修4

研究レポートの作成

5. e-ポートフォリオを用いた省察を行う

ネット授業終了後の提出物について

	プロダクト ★:必須(評価対象)	提出者	作成期限
7/14 ネット授業4	・説明会用スライド(グループプロダクト2) 修正	書記5	7/28(火)
ネット授業終了後	★ 研究レポート ★ ふりかえりシート ★ 成長報告書	全員	

提出が完了次第、アンケートの入力をお願いします。

ネット授業終了後の提出物について

研究レポート：

泉さん家族の問題への対応策と健康長寿社会実現に向けての滝山地区（団地を含む）での取り組みについて

研究レポートはA4 2枚以内で、テーマについて自分の意見や考えを加えて説明してください。その際に自分の意見や考えを支える信頼できる「情報」を活用し、参考文献の引用のルールを守ってレポートを作成してください。

2020年度 ICT活用による分野横断型授業

提出日： 月 日

研究レポート

テーマ：泉さん家族の問題への対応策と健康長寿社会実現に向けての滝山地区（団地を含む）での取り組みについて

氏名：

学部：

参考文献

- 1)
- 2)
- 3)

ネット授業終了後の提出物について

ふりかえりシート：

1. 分野横断PBLの到達目標のうち達成できたもの、できなかったものは何ですか？以下の項目に分けて記載してください。
 - ①グループ内でのコミュニケーション
 - ②自己主導型学修（学修成果のサマリー・説明用ファイル・引用文献・図書など）
 - ③ICTを活用したグループディスカッション（説明用ファイルを用いた説明とグループプロダクトの作成）
 - ④医療人としての将来の展望
2. グループとして皆が納得できる泉夫妻のプロブレムマップが作成できましたか？
3. 泉夫妻の問題点に対する対応策について、グループメンバーに説明ができましたか？それが最終的なグループプロダクトにどのように反映されましたか？
4. 今の気持ち・感情を記入してください。
5. 今後に向けて、さらに学修すべきことは何でしょうか？

ネット授業終了後の提出物について

成長報告書：

成長したことベスト3

1.

2.



3.

ここで得たことを、どう活かしますか？

いつ・どこで・どんな状況で・誰にどのように・・・具体的にイメージして書いてください

ネット授業終了後のルーブリック評価

研究レポートについて自己評価（ルーブリック評価）をしてください。

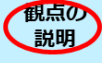
以下の4つの観点について、該当するレベルに  を移動してください。
必ず  が中央になるように移動してください。

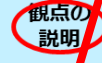
研究レポートに関するルーブリック評価

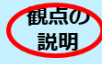
氏名：

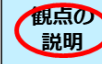
該当する評価に  を移動してください

(レベルの数字が大きい方が高評価)

観点	問題発見
 観点の説明	患者・家族の全体像（疾患、心理、社会的、生活等の側面）を把握した上で、多学部の視点を加えて問題を発見している。
レベル3 (3点)	全体像を把握した上で、問題を取り上げた理由や意義も含め、多学部の視点で問題を考えた経緯を述べ問題を発見している。
レベル2 (2点)	問題を考えた経緯を述べて、問題を発見している。
レベル1 (1点)	問題を発見しているが、問題を取り上げた理由や意義を含め経緯は述べていない。
レベル0 (0点)	問題を設定していない。

観点	問題解決
 観点の説明	問題解決策についていくつかの可能性を検討したうえで提案している。
レベル3 (3点)	いくつかの可能性の中から、自分の意見や考えを加えて、優先順位を考慮した解決策を提案している。
レベル2 (2点)	優先順位を考慮した解決策を提案している。
レベル1 (1点)	解決策を提案しているが、優先順位を考慮していない。
レベル0 (0点)	解決策を提案していない。

観点	根拠となる情報
 観点の説明	患者・家族の問題・疑問の解決策の提案にあたり、問題解決策の根拠となる信頼できる「情報」を活用している。
レベル3 (3点)	信頼できる情報源を複数活用し、自分の提案のなかで適切に引用している。
レベル2 (2点)	信頼できる情報源を複数活用している。
レベル1 (1点)	単一の情報源しか活用していない。
レベル0 (0点)	適切でない情報源（旧ガイドライン、著者不明、広告サイト等）のみを使用している。

観点	本文への根拠の明記
 観点の説明	引用部分と自分の文章とを区別している
レベル3 (3点)	参考文献の番号を本文にすべて正しく記載している。
レベル2 (2点)	参考文献の番号を本文に正しく記載している。
レベル1 (1点)	参考文献の番号を本文に記載していない。
レベル0 (0点)	参考文献に番号を付けていない。

ネット授業終了後のルーブリック評価

電子ポートフォリオ（目標書き出しシート、ふりかえりシート、成長報告書）について自己評価（ルーブリック評価）をしてください。

以下の3つの観点について、該当するレベルに○を移動してください。
必ず○が中央になるように移動してください。

電子ポートフォリオに関するルーブリック評価

該当する評価に○を移動してください

(レベルの数字が大きい方が高評価)

氏名：

観点	目標設定能力	観点	自己評価能力			観点	将来像を見つめる能力
			コミュニケーション	自己主導型学修	PBL (問題発見・問題解決)		
観点の説明	以前の関連科目のふり返りを踏まえて、本科目の目標が具体的に設定できている	観点の説明	設定した目標が到達できたかどうか明確になっている。			観点の説明	本科目と自身の将来像との関連が明確になっている。
レベル3 (3点)	以前の関連科目をふり返し、その到達度を評価したうえで、具体的な目標設定をしている。	レベル3 (3点)	設定した目標すべてについて、到達できたかどうかを到達度を含めて自己評価(省察)している。			レベル3 (3点)	本科目で学んだ内容を将来の自分の職能にどのように活かすか、具体的な実現性がある。
レベル2 (2点)	以前の関連科目をふり返し、具体的な目標設定をしている。	レベル2 (2点)	設定した目標について、到達できたかどうか自己評価している。			レベル2 (2点)	本科目で学んだ内容を将来の自分の職能にどのように活かすか具体的なになっている。
レベル1 (1点)	目標設定をしている。	レベル1 (1点)	設定した目標について、到達できたかどうか自己評価をほとんどしていない。			レベル1 (1点)	本科目で学んだ内容を今後どのように活かすか将来像が具体的なでない。
レベル0 (0点)	目標設定がされていない。	レベル0 (0点)	設定した目標について、到達できたかどうか自己評価していない。			レベル0 (0点)	本科目で学んだ内容を今後どのように活かすか将来像がない。